

時代のニーズに応え

地域で必要とされるセラピスト養成へ

北海道医療大リハ科学部

地域で必要とされるセラピスト養成へ
北海道医療大リハ科学部

15年度介護保険制度見直し・介護報酬改定ではリハ充実・強化が国られ、介護予防機能強化のために、セラピストの専門性を活用した「地域リハビリティーション活動支援事業」が新設された。厚生労働省検討会では、生活モデルや地域リハに対する期待はこれまで以上に高まっている。

「地域包括ケア演習」は、そうした時代の要性が指摘されるなど、セラピストに対する期待はこれまで以上に高まっている。

北海道医療大リハ科学部は、3年生の選択科目として「地域包括ケア演習」を2015年度からスタートした。地域包括ケアシステムで求められているセラピストの役割などを伝えながら、地元の当別町内で行われている認知症カフェでフィールド演習。医療機関や介護施設・事業所の枠を超えて、多職種、地域住民と連携しながら取り組む、地域リハの理解を深める場になつていている。

認知症カフェでも フィールド演習も



来月16日、学生企画・介護予防フェア開催

地域の実情を知り、コミュニケーション力をもつて活用していく。身に付けられる。地域で暮らす方の健康を守るだけでなく、地域に貢献できる人材になりたいと思うようになつた」と感じている。

「地域包括ケア演習」（パウンドケーキ、カレーランチなど市町村事業に携わる中で、実習以外で現場の雰囲気につれて現場の運営する共生型

本年度から「地域包括ケア演習」

地域オープンサロンの動作や姿勢をさりげなく評価して対応を考えたり、会話の引き出しが、その人らしさを引き出す関わり方などを学んだ。

鈴木学科長は「セラピストに必要な知識や技術、センスを磨く場になる」と話し、「インフォーマルサービスの連携▼意図的な関わり方▼地域課題の把握・解決などを考え

地域住民のニーズを把握し、企画・立案、実行できる力の習得を目指しており、同学部学生企画の「介護予防フェア」を7月16日午前11時～午後3時、「Garden」で開催。学生

2015年(平成27年) 6月25日 毎週木曜日発行
発行所 株式会社北海道医療新聞社
〒060-0042 札幌市中央区大通西6丁目(北海道医師会館)
☎011(221)7777 ホームページ <http://www.medim.co.jp>



2015年(平成27年) 6月25日 每週木曜日発行
発行所 株式会社北海道医療新聞社
〒060-0042 札幌市中央区大通西6丁目(北海道医師会館)
☎011(221)7777 ホームページ <http://www.medim.co.jp>